

商工会報

# あち

第4号

発行 阿智村商工会  
43-2241  
編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)



商工会館に祭られた聖徳太子社殿

## 商売繁盛を願って!

商工業の発展を願い、家内安全を願う  
恒例の御太子講祭が、十月三十一日、  
建設部会主催により挙行されました。



御祓いを受ける商工業者

祝詞をあげる倉田宮司



# 接客サービスに みがきを!

## 《サービス部会》

昼神温泉の涌出しから早十一年目を迎え、旅館業者もサービスの見直しに懸命に努力している今日、接客になお一層みがきを掛ける

# 商工会事業一斉に始動

ため九月二十七日にサービス業者(旅館業・飲食業)を対象に接客技術講習会を開催いたしました。受講者は、旅館の従業員・事業主を含め六十余名の出席があり、講師には、一昨年度お願いをして好評を得ました東京の新宿ニューシテイホテル料飲支配人の古川攻氏を再度お招きをして講議を受けました。

内容は、接客の基本から始まり苦情処理、電話の応対、セッティング(配膳)防犯・防災、それから本場のサービスとは心である事等、幅巾く受講いたしました。接客は、何度も繰り返し行なって生きてくるものであり



熱心に聞く従業員

今後も機会があれば実施したいと考えております。

## 最近の金融情勢 について懇談

### 《経済部》

依然厳しい経済情勢の中で、商工会の金融に係る相談件数も増加傾向にあり、その幹せん内容も難しいものが出ている中で、一方では「無保証・無担保」による貸出し制度もあり、このような中で、最近の金融関係についての懇談会が、九月十八日に昼神温泉のみさか温泉旅館において開催されました。

懇談会には、下伊那地方事務所中平商工課長、阿智村役場原産業課長、佐藤主任、国民金融公庫伊那支店三沢調査役、長野県信用保証協会飯田

支所山崎所長、飯田信用金庫駒場支店馬場田支店長、阿智村農業協同組合水上参事を講師に商工会側からは執行部、経済部、事務局が出席し、各講師による最近の金融をとりまく情勢等についての話しを聞き、その後懇談が行われました。中でも昼神温泉郷の開発に伴う金融問題、サラ金問題、制度資金と保証問題、金利の問題、県制度資金の農協の指定金融機関について等活発に意見交換が行われました。

## 城山公園下刈り に大勢参加

### 《観光部》

村立城山公園内の整備作業が去る十月二十二日実施されました。

当日は朝から会地支会の皆さんの大勢の参加により、同公園一帯の下刈り作業が、午前中行われました。

この作業は毎年会地支会が主体となり、奉仕的に行っている事業で、二十余年間続いております。

今年キノコの豊作の年ともあって、作業終了後作業参加者全員でキノコ狩りを楽しみました。

このほか昼神温泉郷にある昼神公園の整備事業も、智里

支会(昼神発展会)が行っており、商工会としては両事業について、植林木等苗木代を助成してまいります。

## 阿智村工業を 考える

### 《工業部会》

十月十七日に、阿智村工業を考える意味で、工業団地の視察と企業懇談会を開催いたしました。

午前中は、高森町第一工業団地の寺沢技研工業(株)・コーエー精機(株)・久保敷製作所・松川町工業団地の信英電子(株)を見学いたしました。どの企業も最先端をゆくロボットやエレクトロニクスを導入して、省力化を図り企業収益を上げる様努力しておりました。また、高森町第一工業団地

は事業組合を組織しており、団地形成までのいきさつを、原正茂理事長より伺いましたが、幾多の曲折も、進出企業の深い理解と利害を捨てて一致協力した事と町の大きな協力があつた事が今日を迎えるに至ったとしみじみ話しておられました。

午後は、村長、役場産業課長をオブザーバーに迎えて、「阿智村工業の今後のあり方」と題し懇談会を開催いたしました。この中では、数々の意見が出され、農・工・商のバランスのとれた行政を願うと共に工場誘置よりも既存企業の育成を図る様要望も出されました。

## 御太子講祭挙行

### 《建設部会》

本紙一面に掲載した写真の様に恒例となりました御太子講祭を、十月三十一日に取り行いました。

この祭典は、古くより商業工業のものと、をきずき、商売の神とあがめられている聖徳太子をお祭りして、商売繁盛を願い健康で明るい毎日が過ごせる様祈念する商工会の大事な行事の一つとなっております。



会長 佐々木 発言



昨年、長野県神社庁副庁長の佐々木孝雄氏に揮毫していただいた書に入魂を行ない、今までは安布知神社にて祭典を行なっていたのを、商工会館にて取り行なう様にいたしました。

今後も毎年取り行ないますので商工会員の方のご出席をお願いいたします。

### 優勝は

### オール下町!

《厚生部》

去る十月十日体育の日、秋晴れの下で、会員親睦ソフトボール大会が行なわれました。会場となった阿智第一小学校のグラウンドでは、AコートとBコートに分かれ、午前九時より大会が開催されました。

今年は一チームの棄権があり、五チーム(伍和チーム・智里チーム・全関田チーム・全下町チーム・駒場西チーム)の参加で対戦が行なわれました。

各チームともあまり力の差はなく、中には引分けで、ジャンケンをして勝敗を決めた試合もあり、大半が一、二点を争う好ゲームでした。

午後からは、Aコートの二位とBコートの二位同志の三

位決定戦及び、一位同志による決勝戦が行なわれ、優勝が全下町チーム、準優勝が智里チーム、三位が全関田チームという結果になり、全試合が終了しました。



優勝旗授与

懇親会は、会場を商工会館に移し、盛大に行なわれました。

快晴の秋の日に気持ちのいい汗を流した会員の皆さんも翌日は、足や腰が痛かったのではないでしょうか……。

### 街路灯建設研究

### 委員会設置

《商業部》

阿智村の商店街に街路灯がついたのは、昭和四十七年です。

商店街を明るくし、買物をされるお客様の便を図る事により、商店経営も潤いをみせ

ることになりますので、駒場商店街を中心に、会地地区・伍和地区に百基余の街路灯を建設致しました。

その後、十年余の歳月が流れており、故障等も出てまいりましたので、今後の対策を立てるため研究委員会をつくり専門研究をすることになりました。

委員会構成は、本会執行部四人・各部部长七人・商業部員十一人の計二十二人で構成されております。

### フルコースを

### 賞味!

《婦人部》

昨今の食事状況は、洋食がフルに取り入れられる様になり、そのマナーの必要性が問われております。

こうした中、婦人部では、九月二十五日に飯田市のシルクホテルにおいて、洋食マナーの勉強会を行いました。講師は、同ホテルの小島課長のご指導により四十五名が受講いたしました。

当日のメニューは、  
☆オードブルバリエー

- ・生ハム
- ・カナッペ
- ☆スープ

・白いんげんのクリームス

- ☆魚料理
- ・舌平目のムニエル
- ☆肉料理
- ・ポークチョップハワイアン
- ☆サラダ
- ・サウザンアイランドドレッシング
- ☆デザート
- ・メロンシャーベット
- ・パン・バター
- ・デミタスコヒー
- ☆ワイン
- ・モーゼル白ワイン
- ・ボジョレー赤ワイン

でした。

大変参考になり、今後、家庭料理に生かしてみたいと思

います。午後には、飯田市追手町の飯田消費生活センターにおいて「最近の消費者問題について」と題して奥村稲雄所長より講義を受けました。

この問題は、最近マスコミを賑わしている訪問販売等の実例の取り上げての話だけに身近に感じ、熱心に聞く事が出来ました。

婦人部では、来年一月にも下条村婦人部との共催による研修会を行いますので、是非多数の方のご出席をお願いします。

## 信金だより

地元で育って六十年  
感謝の心いつの日も

当金庫は大正十四年の創業以来、地域経済の繁栄と地域の皆さまの豊かな暮らしづくりのお役に立つことを願って、六十年を数えるにいたしました。

皆さまからお預けいただいた預金も千五百億円にあと一步(九月三十日現在千四百二十三億円)と、順調な歩みを続けさせていただいております。これも、ひとえに皆さまの暖かいご支援の賜ものと心から感謝いたしております。

つきましては、今後ともなお一層地域に密着し地域の皆さまのお役に立つ金融機関をモットウに努力してまいりますので、このうえともお力添えを賜りますようお願い申し上げます

おかげさまで六十周年

飯田信用金庫



# なんと空缶が セメント袋に九袋

《青年部》

毎年行なっている青年部の主要国道並びに県道沿いの空缶回収を、九月八日に行ないました。

当日は好天に恵まれ、国道一五三号線の春日から昼神までと県道下条・阿智線の駒場から伍和までの間を拾いました。

中でも伍和方面は、林の中までも捨ててあり急斜面を下がって拾うほどでした。

成果の方は、セメント袋に九袋もあり、いつもながら日本人のマナーの悪さにはあきれまします。

昨年は、国道一五三号線沿いに空缶ノイポイ看板を設置しドライバーに呼び掛けたわ



空缶回収ごくろうさま

けですが、これが功を奏したのか一五三号線沿いは、昨年実施した時の半分以下でした。

来年は、再度ノイポイ看板を作成して伍和方面に設置したいと考えております。

## 阿智祭に

### 今年も参加

《青年部》

十一月十七日に行なわれた阿智祭には、青年部が焼鳥・イカ焼・フランクフルト等の模擬店バザーで参加しました。

仕入れた材料は、イカ百パ、焼鳥四百本、フランクフルト二百本。

準備を終え、慣れない手つきで焼き始めたが、やはり午前中はあまり人出がなく、試食の量が多かったようです。

又、あいにくの雨で、出席した部員は、悪戦苦闘でしたが、昼に近くなるにつれ売れ行きも良くなり、時間のかかるイカなどは、客の列とまではいきませんが、かなりのお客様でした。

昼過ぎになると、焼鳥やフランクフルトなども飛ぶように売れ、午後一時半頃には、仕入れたすべての物が売り切れしました。

昨年は不用品バザーと兼ね

て行なったことから、利益も多く、療護園への寄付も出来ました。今年度は、試食が多かったのか、単価が安かったのか、利益は少な目でした。しかし部員達は、この事業を毎年恒例のものとするようにはりきっております。

## 公用車の

### 新車が！

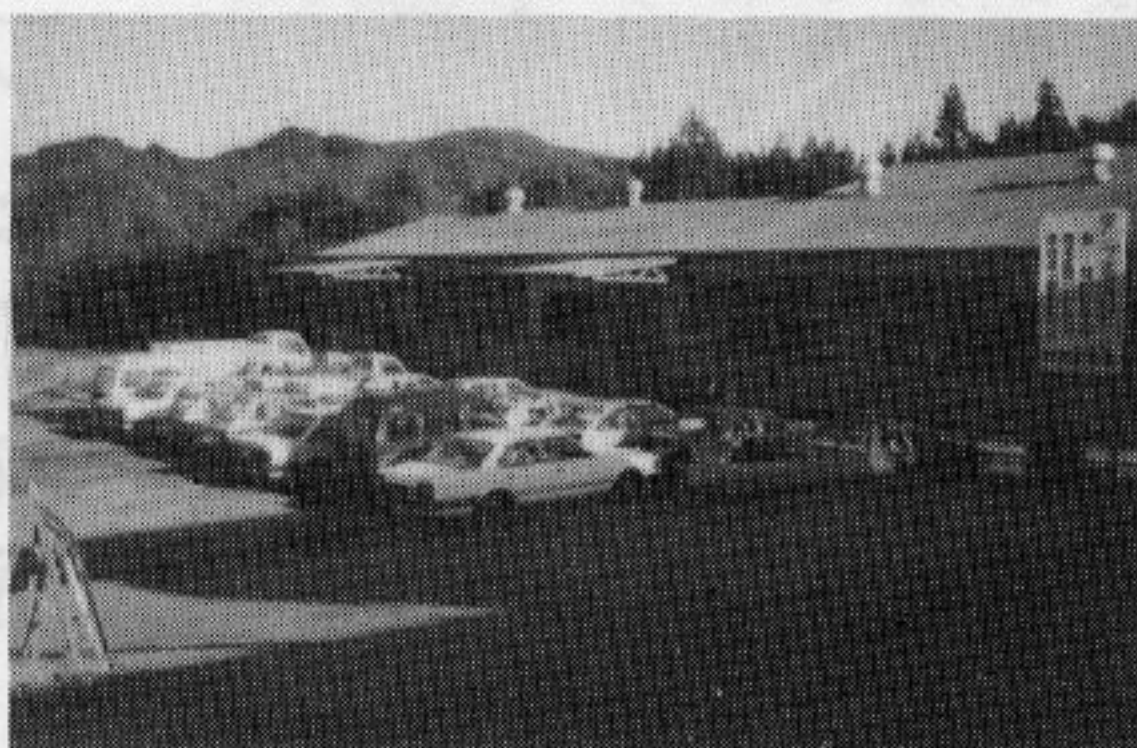
国・県・村の補助金により新しい公用車が購入されました。かねてから補助金要望を出

していた特定地域車両購入費の補助金が付き、村のご援助もあって九月七日に公用車の納車ができました。車種は、トヨタカローラー、五〇〇cc GLサルーンです。商工会マーカーの車を見ましたら、どうぞ手を振って下さい。

## 企業探訪

No.3

### 化成工業(株)長野工場



長野工場全景

今回の訪問は、化成工業(株)長野工場さんです。

11月下旬、伍和にある工場におじゃまして、代田工場長さんにお話を伺いました。

《代表者》 代表取締役社長 土師敏雄 ・ 長野工場長 代田 栄

《創業》 昭和43年5月

《資本金》 5,635万円

《従業員》 51名(男35名、女16名)

《主な製造品》 プラスチック成型による自動車用部品・繊維機械用部品・時計(クロック)用部品等

《主な取引先》 日産自動車(株)・日本電気(株)・ヤマハ発動機(株)・リズム時計工業(株)・エプソン(株)

《下請》 20社

当社は、阿智村工場誘置条例に基づいて、昭和44年8月に当地に長野工場を設けました。

従来は関東地区の取引先が主流でしたが、近年では長野県内にも多くの取引先が来て、コンピューター関連機器も手掛けるようになりました。

従業員平均年齢は38歳と若く、またロボット化も進んでおり1人3台~4台をこなして、24時間3交代制で生産性を上げております。

特に、品質管理には重点を置き、TQCサークル活動も盛んで、数々の表彰を受けながら従業員の改善提案も実施しており、従業員も会社と一体となって利益の増加を図っております。

会社のモットーは、品質管理と労働安全で現在、無労災3年目を迎えております。今後、工業用地の確保が問題で、関係機関へ諮っていくそうです。

- 《会社方針》
1. 品質の向上 — 客先の期待に応える品質
  2. コストの低減 — 客先の希望する価格で提供できるコスト
  3. 安全 — 安全は自分・家庭・会社の為にすべて優先する



商工会法施行25周年記念テーマ

あした  
ふるさとの明日を築く商工会

… 商工会の組織等に関する法律が施行されてから、  
 … 今年で二十五周年を迎えました。  
 … 地域商工業の発展の為につくられたこの法律は、  
 … 商工会の根幹ともなる法律です。  
 … この法律施行二十五周年を祝って、記念式典が県  
 … と全国で行なわれましたので、ご紹介いたします。

県連青年部・婦人部

部結成二十周年

記念も併せて開催

去る十月二十四日、長野県民文化会館（長野市）において記念式典が開催され、本会からも役員、青年部員、婦人部員、職員、二十三名が式典に出席してきました。

式典は県下各商工会から関係者二千数百人が参加し、来賓に衆参国會議員、県議、各市町村長他関係団体者等二百五十名を迎え始めました。式典は吉村県知事、小川商工連会長の主催者式辞に始まり、商工会関係物故者追悼（黙祷）、商工会・青年部・婦人部のあゆみ（経過報告）、連合会旗等の披露、表彰も行なわれました。

本会関係では優良商工会として「阿智村商工会」、役員功労者として園原峯正（理事）、虎岩敬二（監事）が、長野県商工会連合会長表彰、優良常勤職員として、原勝城（経営

指導員）が東京通商産業局長表彰を受けました。

最後に来賓の祝辞が各々行なわれ盛大の中に終了しました。

尚当日はアトラクションとして、千曲川坂城陣太鼓の他商工会婦人部音頭、警察音楽隊の楽団演奏、深田祐介氏の記念講演が行なわれました。

全国大会で

佐々木会長表彰

初冬の候、十一月二十日に東京渋谷のNHKホールにおいて商工会全国大会が開催されました。

来賓として、中曽根内閣総理大臣、通商産業大臣、中小企業庁長官、衆参両院議員、その他関係機関の代表にご臨席をいただき、全国各地域より商工会の代表者が参集いたしました。さしも広いNHKホールは満場となり盛大に大会が開催されました。

大会は、第一部として開会宣言にはじまり物故者追悼、国歌斉唱、商工会歌演奏、大

会長挨拶と進み、中曽根総理大臣・通商産業大臣の祝辞、来賓紹介があり大会決議がありました。（後記に記載）

その後、永年商工会のために活躍された方の表彰式が行なわれ、我が阿智村商工会でも、佐々木達夫会長が、中小企業庁長官の役員功労者表彰を受賞されました。永年の商工会活動に貢献された功労をたたえお慶びを申し上げて報告致します。

式は、続いて記念論文・商工会標語入選者発表、中小企業庁長官あいさつ、祝電披露万才三唱となり第二部へと移りました。

第二部は、商工会ソング「ごきげんいかがですか」の発表会があり盛大のうちに、終了となりました。

〔大会決議文〕

- 一、中小企業の振興のための内需並びに官公需の拡大
- 一、昭和六十一年度商工会関係予算の全額確保
- 一、中小企業関係税制の改善並びに金融制度等の拡充
- 一、生協の規制強化
- 一、地域中小企業対策の拡充
- 一、商工会の発展的方向の確認並びに組織の強化

右、決議する。  
 昭和60年11月20日  
 商工会法施行二十五周年記

25周年記念 新春講演会予告

- 期 日/昭和61年1月8日
- テーマ/「寅年にかける経営と勝負」
- 講 師/大相撲解説NHK北出アナウンサー

念第25回商工会全国大会以上のお通り実現が図られるよう強く要請すると共に、商工会の組織強化に対する決意を表明することになりました。

“目標達成187口”

商工貯蓄共済の加入推進を九月二十六日に行ないました。厚生部の担当事業として、毎年加入促進期間内のこの時期に実施しています。県連合会及び下伊那支所からもお手伝いをお願いし、厚生部員を中心に、理事、職員を五班に分け、村内会員宅を訪問、加入をお願いしました。



今年目標口数は八十口、これに対して、新規加入百八十七口という成果を上げるこ

とができました。十月現在商工会では、加入件数四百九十六件、加入口数九百六十三口、加入率は県下平均二九〇%に比べ、三五九%となっています。

「3つのりんご」のパンフレットで御存知の商工貯蓄共済は、「資金の蓄積」「融資のあっせん」「生命事故の保障」の3つの特色を組み合わせた商工会員のための共済制度です。

### 第二期商調協 委員選任!

大規模小売店舗法に基づく商業活動調整協議会委員の選任がされました。

これは、売場面積五〇〇㎡以上の小売店舗が出店する際に、商工会長が諮問する機関であり阿智村では、ショッピングタウン・ピアの出店に際しこの機関の委員の方達に調整協議をしていただきました。

前期委員の任期は、今年三月三十一日で満了となっており、常設機関ではありませんので、そのままとなっておりますが、ここに来てピアから案件が出ましたので、委員

の選任となりました。

消費者委員・商業者委員は再任は出来ず、なおかつ制約があり、村・県・東京通商産業局の指導もあつて、次の方が選任されましたので、ご報告いたします。

- 〔消費者委員〕 四人
  - 熊谷和佳子―阿智村婦人会 長
  - 小林 慎平―農業対策協議会 会長
  - 佐々木典子―阿智村婦人会 会地支部長
  - 原 武彦―阿智村中央公

民館長

〔商業者委員〕 四人

- 原 吉郎―梅ほていや薬店
- 塚田 武―梅下吉田昼商店
- 小池 正寛―下中平ふとん店
- 佐々木広司―梅辻本屋商店

〔学識経験者委員〕 四人

- 塚田 弘一―阿智村商工会 顧問
- 内田 千本―前・阿智村教 育長
- 林 正勝―阿智村商工会

顧問

〔特別委員〕 四人

- 原 弘蔵―前・阿智村中央公民館長
- 東京通商産業局商工部長 野口 宣也
- 下伊那地方事務所長 風間 馨
- 阿智村助役 池田 義三

長野県商工会連合会専務理事 丸山義三郎

任期は、昭和六十年十一月一日より昭和六十二年十月三十一日までです。

## 珠算検定合格おめでとう

十一月十七日(日)商工会館

において、第七十一回全国商工会珠算検定試験を行ないました。今回の受験者は百四十名、合格者は四十二名、合格率は三〇%でした。合格者は次のみなさんです。

- 一級 菅沼 弘子さん
- 二級 沢井奈美子さん
- 林 千鶴さん
- 三級 脇坂 英敏くん
- 小池 宣貴くん
- 折山 絵美さん
- 佐々木雅代さん
- 飯嶋 幸さん
- 田中 誠くん
- 原 あい子さん

宮嶋 亮平くん

- 五級 原 あい子さん
- 原 亜希さん
- 原 英樹くん
- 島岡 剛くん
- 今井 成美さん
- 沢井 宏美さん
- 肥後 文子さん
- 原 円さん
- 荒井 美紀さん
- 田中 薫さん
- 松井 雅さん
- 勝野しずゑさん
- 佐藤 愛子さん
- 岡庭 寛美さん
- 井原 麗子さん

肥後かおるさん

- 七級 園原 信也くん
- 井原和賀子さん
- 井原 成城くん
- 小林 英二くん
- 水野 修二くん
- 尾沢 泉さん
- 田中 宏美さん
- 遠山 恵理さん
- 宮嶋 淳くん
- 塩沢 博昭くん
- 高間つかささん
- 上原 志信さん
- 藤倉 真紀さん
- 藤倉 美紀さん

尚、次回の検定試験は、六十二年二月十六日です。

### 商工会

#### スケジュール

年末・年始にかけての商工会日程を、お知らせいたします。

- 12・6 スタンプ店会の経営講習会・忘年会
- 12・7 青年部忘年会
- 12・11 婦人部常任委員会
- 12・11 青色申告決算説明会
- 12・13 労働保険事務担当者研修会
- 12・17 食品衛生協会接客業レントゲン検査
- 12・17 経営指導員会議
- 12・18 理事会
- 12・20 スタンプ券事業所精算日
- 12・20 源泉税納期特例延長届出〆切
- 12・29 商工会事務休業
- 12・30 源泉税年末調整事務
- 12・7 商工会新年総会

並びに新春講演会  
以上が、現在の予定で  
す。

該当の方は、予定に入  
れておいて下さい。



# 商工会の思い出事業

No. 4

★商工会の思い出事業を連載でお届けいたします。第1回は昭和36年9月6日から9月8日まで行なわれた会員親睦旅行(渥美半島から三谷温泉の旅)の記録を何回かに分けて連載いたします。

(昭和36年9月29日付、信州日報より転載)

## 渥美半島から三谷へ

文・駒場山人

写真・阿智商工会写真部

うま煮にして食べると頗る美味で且つ精力盛んになるということだが、残念ながら実験してみる勇気がなかった。

この似たり目と共に「浜木綿(ハマユウ)」という天然記念物の植物が、此処の名物である。この植物は六月頃真白い綿のような花を付ける熱帯植物で、遠く万葉時代から知られており、歌われているそれが、売店の前に植えられていた。

はるか海上に浮ぶのは、去年行った篠島辺りであろうか高い波浪に奔ろうされながら大小さまざまな漁船が帰って来るのが見える。白い沫きを花のように散らしながら、巧みに乗り切って行く海上風景に、しばらく見とれる。

引き返して浜の広場にズラリと並んでいる売店や休憩場で、みんな土産物を買ったり冷たいものを飲んだりする。ここでも「似たり目」が評判だ。

豊橋で用意して来た昼食弁当を使うべく、バスは少しはなれた「日出(ヒイ)の石門」

へと向う。

海中に突出した奇岩の真ん中に穴が空いていて、ここから朝日の出を見るところという仕掛けである。それで「日出の石門」と名付けられた。

その石門へ歩を運んで弁当を使う人や、浜で「似たり目」を探す人や、売店の座敷でビールを飲む人や、さまざまな格好で此処で約一時間半の自由行動をとる。句ありうるはしき女(ひと)も拾うや似たり目

女性群は一堂に会してさかんに気焰を上げていたが、やがて売店前で、似たり目の解剖を熱心に見物していた。盛り場を過ぎて、この辺も観光客はまばらだが、豊橋からは何台もバスが来ている。

伊良湖崎は、かの有名な漁師歌人カス谷磯丸の生まれたところである。磯丸は伊賀良と山本の間の二ツ山に関する伝説に關係ある歌人で、下伊那とは、す



三谷温泉へのバスの中で

こぶる縁故が深い。東が男山で街道の西が女山という、この二ツ山は、むかし山の間を裂いてこれ見よがしに着飾った嫁入り行列などが連るとこれをシットしてじやまをし、夫婦別れをさせてしまうというような伝説が久しくあった。そこで磯丸が万代もうごかぬ御代の夫婦(めをと)山いつの世にかは契りそめけむと歌って、これを里人に与えた。里人はこれを碑にきざんで二ツ山に建て、以来、そのような悲劇がなくなった。というのである。

末期の傑れた詩人伊良子清白が生れ、この地の風物を大変愛した。

午後一時、伊良湖崎を後にする。

暑い故か、車内は至って静かだ。バスは東回りに赤羽根浜を過ぎる。赤羽根は地曳き網で有名な漁師の浜場だが、この日は引き潮だったためか、牛の曳く網の姿も見受けられなかった。

再び田原へ出て豊橋の裏街道を、御津(みと)海岸添いに走る。豊橋を出外れたあたり、目拾いで有名な前芝海岸を左側に見て、御津を過ぎると、間もなく大塚海岸へ差しかかり、左側に例の「海の家」が見える。

「海の家」を過ぎると、もうバスの車窓から右手のはるか上に、三谷の子安観音の高い立像が見え出した。いよいよ今夜の宿泊地三谷温泉へ近づいたのだ。車内は、俄かに元氣付く。

予定の午後三時半、バスは急坂を上って、山腹に建てられた「菊富士別館」の玄関前へ横付けとなった。大勢の女中さん達に出迎えられて、一同いそいそと下車。三階の大広間で先ず茶菓の接待を受け割り当てられた部屋へ、それぞれ分散した。(次号へ)





十二月十一日は

青色申告

決算説明会

(青申会)

税務署による決算説明会が十二月十一日(水)に、商工会館で行なわれます。

この日は、青色申告決算書の配布と税務署による決算説明講習があり、出席者には、「決算説明会出席シール」が配布されます。このシールは、決算書に添付して税務署に提出するものですので、各事業所一名は必ず受講するようにお願いします。

また当日は、専従者給与・従業員給与等の年末調整事務についても併せて説明が行なわれます。

なお、毎年決算書の受け取りに見えない事業所がありますので、当日都合の悪い方は、十一日以降十四日までの間に商工会館まで、代理人でも結構ですので受け取りに来て下さい。

### 傷害共済の加入

#### にご協力を!

去る十一月十四日中小企業者のための傷害共済のボーリングを実施しました。現在、共済加入者数は一五六人ですが、共済の内容は交通事故を含めてあらゆる傷害が対象となります。業務上、業務外の別はありません。共済掛金も月額千二百八十円から二千円と安く、補償は通院二千円から三千円、往診三千円から四千五百円、入院五千四百円から八千円、障害四二万円から七二〇万円、死亡四八〇万円から七二〇万円、その他葬祭料も二五万円から三八万円支払われ、中小企業者(家族、従業員含む)にとって、有利な共済制度です。是非加入をおすすめします。

### 法人会が

### 社団化されます

(法人会)

去る十一月二十六日、社団法人飯田法人会の設立総会が、地場産業振興センターで開催されました。

法人会の使命は、税務知識の普及徹底を図り、自主的な適正申告納税の実を挙げることにあります。

にありますが、今までの法人会は任意の団体であったものです。今回公益法人(社団化)する事により、大蔵省の公認団体となり、法人格をもって税制改正要望等、国の税制調査会や国会に強力に提言出来る団体となった訳であります。

今後は専用の事務所と、専従職員を配し事業の充実に努められます。尚、今までの単会(阿智清内路法人会)は社団法人飯田法人会の支部組織となります。

### お客様五〇名を

### 昼神温泉へ

### ご招待

(スタンプ店会)

本年六月、会地、伍和の両地区にあったスタンプ店会を解散し、村内を統一したスタンプ店会が発足し、事業の充実に努めて来ておりますが、去る九月九日昼神温泉招待セールの抽選結果により、お客様五十名を湯元ホテル阿智川へ招待喜ばれました。

当日の招待者は飯田市のほか根羽、浪合、清内路、阿智の皆さんで、抽選券六千余枚の中より選ばれた方々でした。尚スタンプ店会では、今後新しい企画を取り入れて、一層皆様によるこぼれる街づくりに行ないたいとしておりますが、次のよう講演会も計画されております。

くりを行ないたいとしておりますが、次のよう講演会も計画されております。

日時 十二月六日午後一時  
場所 阿智村商工会館  
テーマ「勝負の時代」—これからの中小企業経営—  
講師 経営コンサルタント 水橋 復男

### 六十年

### 食協表彰決まる

(食品衛生協会)

食品衛生功労者並びに優良指導員、優良施設の飯田食品衛生会長表彰が決まりました。

(食品衛生功労者)

- ・宮下克彦…宮下製パン(向)
- ・征矢健一…木曾屋商店
- ・長年、食品衛生協会阿智支部の役員を勤めて、業界の指導育成、組織強化に努力されました。

(優良指導員)

- ・岡本祐治…稲石料理店
- ・遠山則夫…みさか旅館
- ・食品衛生の向上に熱意があり、業界の模範的存在でありました。

(優良施設)

- ・向神明荘…鋤柄邦輔
- ・温泉宿処奈古や…坂本讓
- ・食品衛生法施行規則並びに食品衛生に関する条例による施設基準に適合し、監視・採点が優良でした。

## 編集後記

○：木枯らしの夕暮れ、初雪の便り、本号が発刊される頃には、雪景色が広がっていることと思います。

○：今年は、気候に恵まれて水稲を始め多くの農作物は昨年が続いて豊作だったようです。これで農家経済も少しは良くなると思われ、その余波が商業者に及ぶことを大いに期待したいところです。

いずれにしても、農業者と商業者の経済が共に良くなければ、村全体の経済発展は望むべくも無い事は、万人等しく認めるところであります。

○：駒場の旧商店街の住年の面影は今も無く、全く目を覆うばかりです。関田地区発展を望むのは当然ですが、旧商店街の在り方にも少し関心が寄せられても良いと思えます。行政の上にも、具体的施策があっても良いと思うのは、私一人でしょうか。

折しも村長選挙等の前哨戦が始まっています。

会報編集委員長

渥美貞己記